

城下町米沢を歴史風情のある町にするための提言

水見 貞二
栗野 宏

< 背景 >

- 1) 米沢は城下町であり、歴史的建造物・町並み・史跡・景観が残っており貴重な文化遺産として可能な限り“再生・保存”を推進し、町並み景観を良くしていくことが大事と考える。
- 2) 城下町米沢を住民・市民はもちろんのこと観光訪問客の方にも好印象を与え、知らしめることが重要と考える。
- 3) 2009年大河ドラマ「天地人」が放映決定し、町割り基盤を造った直江兼続侯が日本中の注目を浴びていることが後押ししている。

< 再生・保存の対象 / ポイント >

- 1) 建屋
- 2) 茅葺き屋根
- 3) 土蔵
- 4) 垣根 - うこぎ（五加木）等の植物・板塀・土塀

* 写真参照 *

< 提言のまとめ >

1. 旧町名標示柱・板の設置継続すること。（現在29か所 135か所）
「標柱探索市民ウォーキング」の開催すること。
2. 芳泉町の「茅葺き屋根の家・うこぎの垣根」町並みの再生保存支援の推進。
3. 『城下町米沢の散策マップ』の大看板の設置
米沢駅前ロータリーを初めとして主要観光名所に「現在地」を明記したマップ看板を設置する。

- 以上 -